

令和6年度(繰越) 道路メンテナンス補助 橋梁長寿命化修繕事業  
橋梁現況調査・補修設計業務委託  
特記仕様書

## 第1章 総則

### 第1条 適用範囲

1. 本特記仕様書は、令和6年度（繰越）道路メンテナンス補助 橋梁長寿命化修繕事業 橋梁現況調査・補修設計業務委託 市道赤須町線外 駒ヶ根市 宮の前橋 1-15 外（以下「本業務」という）に適用する。

### 第2条 業務管理

1. 受託者は委託契約書、設計図書、本特記仕様書、業務打合せ書及び関係法規を尊重し、監督員の指示を受け正確に施行しなければならない。

### 第3条 履行期間

1. 本委託の履行期間は、契約書に定めた期日とする。

### 第4条 秘密の保持

1. 受託者は、業務内容及びその成果を発注者の承認を得ずに第三者に知らせてはならない。

### 第5条 資料の貸与

1. 受託者は契約遂行に必要な関係書類の貸与を委託者に申し出ることができる。

### 第6条 作業の確認

1. 受託者は、作業の進捗状況を随時監督員に報告しなければならない。

### 第7条 中間成果の提出

1. 受託者は、業務の途中において委託者より中間成果を求められた時はその指示により提出するものとする。

## 第2章 業務内容

### 第1条 業務目的

1. 現況調査及び補修設計は、現況の状態を把握し、最適な補修又は補強工法を決定したうえで、工事に必要な詳細構造を設計し、経済的かつ合理的に工事の費用を予定するための資料を作成することを目的とする。

### 第2条 業務概要

#### 1. 橋梁現況調査及び橋梁補修設計

市道赤須町線	宮の前橋 1-15	1 式
市道下街道本線	御堂橋 1-19	1 式
市道 1-91 号線	1-73 橋	1 式
市道 1-111 号線	いすず橋 1-75	1 式
市道 1-459 号線	1-119 橋	1 式
市道 1-666 号線	1-154 橋	1 式
市道 4-1 号線	1-280 橋	1 式
市道 3-1 号線	3-8 橋	1 式

### 第3条 業務内容

#### 1. 事前調査

現地踏査及び基本計画の作成を行うものである。

##### 1) 現地踏査

調査の基本計画を作成するための現地を踏査するもので、形状調査、外観変状調査に必要な機械及び材料の搬入出経路、仮設の要否及び規模、交通量、交通規制、その他調査を実施するために必要な現場の概況を調査記録（写真撮影を含む）する作業である。

##### 2) 基本計画

既存の橋梁データの収集及び現地踏査に基づき現況の設計諸元を整理のうえ、作業方法・作業手続等を検討し、業務の計画書を作成する作業。なお、橋梁データは委託者から貸与を受けること。

#### 2. 形状調査

主要構造寸法を測定し、調査報告に必要な現橋の一般図（側面図、平面図等）を作成する。作成した図面は、報告書に添付するものとする。

### 3. 外観変状調査

各構造部材の外観変状を調査記録（写真撮影を含む）し、報告書に添付するものである。また、各種試験を行う場合はその結果についてとりまとめ、報告書に添付する。

調査資料の構成は、下記の内容をとりまとめること。

- ① 一般事項
- ② 構造概要
- ③ 変状部分の種類及び程度、説明事項、特記事項
- ④ 変状図（舗装面のひび割れ、床版及び桁のクラックと遊離石灰、鉄筋腐食、塗装剥離、豆板等）及び写真、変状の説明
- ⑤ 調査結果及び考察（各部位について、結果・原因とその対策をまとめる）
- ⑥ 各種試験結果
- ⑦ クラック状況図（クラック注入をする場合は、数量の把握まで行う）
- ⑧ まとめ（原因とその対策、補修方針等）

### 4. 補修設計（構造計算を伴わない）

調査結果に基づき補修設計を行うもので、構造計算を伴わない補修設計に適用する。補修工法の選定（仮設計画含）、図化、数量計算、照査、報告書作成までを含む。（また、特殊な工事についての工事特記仕様書の作成を含む。）

補修設計を行うにあたり、新技術等の活用の検討を行うこと。この場合の「新技術等」とは、「NETIS 登録技術」や「点検支援技術性能カタログに掲載されている技術」、「メーカーの新製品などで従来技術と比較してコストの縮減や事業の効率化等が期待される技術」などを対象とする。

なお、各橋について別紙「数量計算書」のとおり補修設計の項目を計上しているが、現地調査により、下記項目以外に修繕が必要となる項目がある場合は、監督員に協議するものとする。

- ①補修工法の選定（工法比較）
- ②床版補修
- ③桁補修
- ④下部工補修
- ⑤橋面補修（防水層含む）
- ⑥地覆補修
- ⑦概算工事費算出

## 5. 打合せ協議

打合せ協議を業務着手時、中間、成果品納入時の計3回を計上しているが、新たな業務の追加がないかぎり、回数は設計変更の対象としない。

## 第4条 成果品

### 1. 設計業務の成果として、設計業務等共通仕様書（共通編）〔令和5年10月1日適用（令和6年10月1日改定）〕3-2-11に準じて作成するものとする。

なお、調査結果・補修設計内容等について解説しとりまとめて記載した設計概要書を作成するものとする。

工法の比較検討にあたっては、新技術等の比較検討を行い、費用の縮減や事業の効率化などに取り組むとともに、新技術の活用検討の結果により、新技術等を活用する場合には、従来技術からの縮減額や縮減日数を算出する。

#### ・調査項目

- ① 橋梁一般図（現橋の設計諸元・補強部位を含む）
- ② 変状図（ひび割れ、腐食状況、その他外観変状全般）
- ③ 調査方法書（現橋調査の概要について記述したもの）
- ④ 調査結果報告書（現橋調査の結果、外観変状調査、補修設計の提案について記述したもの）

#### ・設計項目

- ① 現橋の設計諸元
- ② 外観変状調査及び各種試験結果
- ③ 工法選定の経緯及び選定理由（工法比較表）
- ④ 構造各部の検討内容及び問題点、特に考慮する事項
- ⑤ 主要材料、工事数量・工事費の総括
- ⑥ 施工段階での仮設方法・注意事項・検討事項
- ⑦ 工事特記仕様書
- ⑧ その他、協議により必要になったもの

### 2. 電子納品の対象とする。

## 第5条 業務委託をするにあたっての条件

### 1. 積算歩掛は、「橋梁現況調査・補修設計業務 積算基準」による。

以上